



大原美術館



倉敷考古館

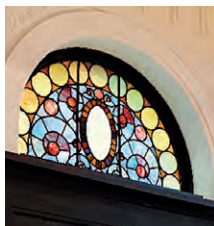
児島虎次郎記念館グランドオープン！

倉敷アイビースクエア内にあった児島虎次郎記念館が2017年に閉館して早8年…。遂にこの春2025年4月3日(木)、旧中国銀行本町出張所を再生して、児島虎次郎記念館が新たにオープンすることになりました！※4月3日は児島虎次郎のお誕生日です。

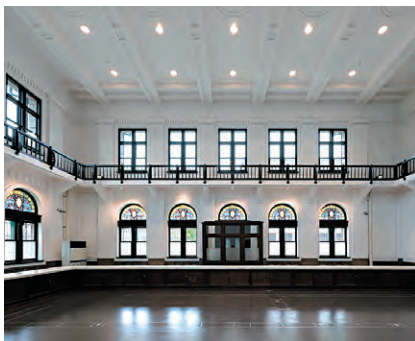
倉敷市企業版ふるさと納税「児島虎次郎記念館整備応援プロジェクト」によるご寄付が再生に活用されました。

児島虎次郎記念館として新たにスタートするこの建物は、1922(大正11)年に、第一合同銀行の倉敷支店として施工され、長らく銀行としてその役目を果たしました。1998(平成10)年には、国の登録有形文化財に選定されました。

鉄筋コンクリート造の2階建てですが、入り口正面から中に入ると、2階部分まで吹き抜ける大きな空間が広がっており、銀行時代には、カタカタと業務処理をしている音が建物内に響き渡っていました。



外観に見える特徴的なドーム型の美しい色合いのステンドグラスが目を惹きま



設計したのは、薬師寺主計(1884-1965)、総社市出身の建築家です。大原家が行っていた奨学金制度を利用した奨学生の一人でした。1906年東京帝国大学工科大学建築科(現・東京大学工学部建築学科)に入学し、卒業後は陸軍省経理学校に教官として従事し、退職後は、倉敷絹織(現・クラレ)の取締役に就任し尽力しました。

手がけた建物は他にも「大原美術館本館」、大原家の旧別邸「有隣荘」、「喫茶エル・グレコ(旧・奨農土地株式会社本社事務所)」などがあります。

江戸時代からある白壁土蔵のなまこ壁が特徴的な建物群の中にあつて、それらの意匠は彩を与えながらも違和感なく調和しており、私たちの生活に溶け込んでいます。

そんな素敵な建物内には、児島虎次郎(1881-1929)が描いた作品に加えて、児島虎次郎が収集した、古代エジプト、西アジアの古美術も展示する予定です。

1階の吹き抜けの大広間とその奥にもう1室、2階に1室、

計3室が主な展示室となります。また、研修会場としてのレクチャールームもあります。

新たな展示館として仲間入りを児島虎次郎記念館。倉敷美観地区に新たな風を吹き込むことでしょうか。ぜひお楽しみ！！

(大原美術館 運営管理課 堀田 智美 記)



児島虎次郎 《和服を着たベルギーの少女》 1911(明治44)年 ▶



児島虎次郎記念館は、大原美術館入館券でご覧いただけます

